



まんだらげ

vol. **4**
2008.3



写真:和歌山城

質の高い医療サービスを提供できる 病院機能評価の認定を受けました

和歌山県立医科大学附属病院は、財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価」(最新のver.5.0)を受審し、所定の認定基準を達成していることが認められ、平成20年1月28日付けで認定されました。当院ではこれを励みとして、『患者さま本位で質の高い医療の提供』の理念に則り、県民の皆さまからより一層信頼されるよう努力して参ります。



日本医療機能評価機構
認定病院
一般病院:ver5.0

CONTENTS

- 診療科紹介 / 循環器内科・耳鼻咽喉科
- 病棟だより / 5階西病棟
- 院内とびくす / 自動精算機導入
- くるーずあっぷ / 医療安全推進室
中央放射線部
- 栄養ワンポイントアドバイス
- お薬の豆知識 / 花粉症

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の学章にも採用されています。

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



【循環器内科】

先端機器による徹底した評価診断で 患者さん一人一人に高度で良質な治療

冠動脈疾患をはじめ、心不全、不整脈、弁膜症、血管疾患などの循環器疾患全般を対象とし、赤阪隆史教授を中心に18名のスタッフが治療にあたっています。当院はマルチスライスCT (64列MDCT) や心臓MRI、心エコーなど最新鋭の画像診断機器をそろえた日本でも有数の施設であり、その診断能力においても世界的評価・注目を得ています。これらの診断機器を駆使して、患者さんにとって身体的にも経済的にも負担が軽減されるように計画をたてて診断にあたっています。また冠動脈疾患(狭心症・心筋梗塞)、弁膜症、不整脈疾患に対するカテーテル治療

においても、常に高度な治療技術を保っており、日本のみならずアジア諸国への技術提供も積極的に行っております。その技術を当院の患者さんへより安全により確実に提供することを第一とし、診療にあたっています。今後も大学病院の特徴を生かし、他科とも連携しながら全人的な診療を目指していきます。



【耳鼻咽喉科】

高い技術力が評価され手術 件数は関西でもトップクラス

当科では“みみ・はな・のど”の病気はもちろんのこと、首から上の病気は脳と眼以外はすべてを取り扱います。聞こえづらい、耳鳴り、めまい、のどが腫れてよく熱が出る、鼻アレルギー、物が飲み込みにくい、声がかれる、首に腫れものができた、といった症状がある場合には是非ご相談下さい。首から上にできる癌(がん)のうち特に喉頭がん、舌がん、ノドのがん、食道上部のがん、甲状腺がんなどが頻度が高く、これらの病気に対しては抗がん剤治療、放射線治療、手術治療を組み合わせる非常に良い治療成績をあげています。開業の先生から治りにくい中耳炎や副鼻腔炎(蓄膿症)が多く紹介されてきますが、

レーザーによる外来処置や中耳手術、さらに内視鏡を使った副鼻腔炎手術など、最新技術を駆使した治療により多くの方が改善しています。また高度の難聴の方に対しては人工内耳埋め込み手術により、多くの方がきこえを回復しています。手術件数は関西でもトップクラスを誇っており、高い技術力が評価されています。研究面でも掌蹠膿疱症などの皮膚の病気やIgA腎症と扁桃との関連、中耳炎のワクチン予防などでめざましい研究成果をあげており、県外からも多くの方が診療を求めて受診されています。



病棟だより 季節ごとの装飾で院内を演出

5階西病棟は、集学治療から緩和ケア、血液内科等からなる混合病棟です。各専門医をはじめ経験豊かな看護師、学生ボランティアなど約25名が明るく元気いっぱい日々奮闘しています。この病棟では、毎週季節ごとの美しい花を飾り、毎月お茶会も開催。そのほか、おひなさまや端午の節句、七夕、ク

リスマスなど年中行事の装飾が恒例になって、患者さんたちの心を和ませています。



院内とびっくす

3月から自動精算機導入 支払いが便利になりました

支払窓口での待ち時間短縮等のため、3月から自動精算機を導入します。

◆設置場所とご利用可能時間帯

2階総合案内ブース裏:午前9時～午後5時(平日のみ)

1階救急窓口前:午前9時～午後5時(平日のみ)

◆操作方法

診察券を精算機に挿入(会計番号用バーコードを読み取らせても利用可)画面に表示された金額を入金お釣り、領収書、診察券を取ります。

※領収書には「くすり引換券」が付いています。

◆クレジットカード・デビットカードでのお支払いが可能です。

※暗証番号をお忘れになった場合、クレジットカードの分割払いをご希望の場合等は窓口へお越しください。

※デビットカードについては一部ご利用頂けないキャッシュカードがあります。また、キャッシュカードにより利用時間帯が異なりますので、詳しくは個々の金融機関へご確認ください。



くろーずあっぱ

安全・安心な医療の提供をめざして (医療安全推進室)

平成19年4月から、医療安全推進部長の山上教授のもと医療事故等の防止と医療の安全性の確保を目的に医療安全推進室が新たに発足しました。室のメンバーは室長(薬剤師)・副室長(看護師)の2人のゼネラルリスクマネージャーと専従事務等と小さな所帯ですが、皆様が安心して医療サービスを受けることができるように活動しています。

医療安全推進室では、職員が日常の業務の中で、「ヒヤリ」「ハッと」した出来事や重要な事例の収集・分析を行い、再発防止策を検討し、より安全・安心な医



(当院の医療安全推進マスコット)

療の提供に努めることや、医療安全の推進のためにゼネラルリ

スクマネージャーによる日々の病棟巡回と、医療安全推進委員等による定期巡回を行い、院内ルールの確認やカルテの管理・安全点検等に努めています。また、医療安全管理に関わる会議を定期的に行い、事例の共有・検討等を行うことや、全職員を対象とした医療安全推進研修会を定期的に行い、職員の安全意識の向上を目指しています。



中央放射線部

本年度機器更新により20年2月末から稼働を始めました。MR装置(1.5テスラ・左写真)更新に伴い、従来より画質の向上、スピードアップ、そして今まで出来なかった検査も可能になり、診断治療に大変役に立ちます。具体的な特徴としては、全身領域の血管撮影が可能になりました。検査時間の短縮によって患者さまへの負担が軽減されます。

また、テレビ透視装置(フラットパネル搭載)も更新され、20年1月から稼働中です。テレビ装置のデジ



タル化により、画質が向上し、近い将来の電子カルテ、PACS(画像モニター診断)に即対応出来ます。



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

おいしい寿司飯の作り方

寒さも和らぐ3月となり、桃の節句を彩り豊かなちらし寿司でお祝いする方も多いのではないのでしょうか？そこで今回は寿司飯についてご紹介します。基本的な合わせ酢の割合は酢、砂糖、塩を10:1.5:1。(米1合の場合は酢大さじ1と1/3杯・20g、砂糖小さじ1杯・3g、塩小さじ1/3杯・2g)。

応用編として生の魚を使うときは砂糖を小さじ

1/3杯控え、ちらし寿司やいなり寿司の場合は小さじ1杯多くすることでおいしが増します。また、砂糖は時間のたった酢飯が硬くなるのを防ぐ働きがあります。基本の配合を参考に、ご家庭でオリジナルの合わせ酢でお寿司を作ってみてはいかがでしょうか。



お薬の豆知識



シリーズ④「花粉症」

～薬剤部から～

花粉症とは花粉が原因となって体内から分泌されたヒスタミンにより、くしゃみや鼻水、目のかゆみ、などのアレルギー症状を起こす病気です。薬物療法としては抗ヒスタミン薬等の内服薬や点鼻薬、点眼薬のほか、症状が強い場合にはステロイド薬なども使います。最近では眠気などの副作用を抑えた体に優しい薬も出てきています。症状が治まったからと薬を飲むのを止めたりせず、処方された薬はきちんと最後まで飲んでください。

お知らせ

「最新の医療カンファランス」

場所：和歌山県立医科大学 図書館棟3階
(生涯研修・地域医療支援センター 研修室)

日時：第2木曜午後3時～午後5時

3月13日(木)「第9回腎臓の病気の意味とその対策」

○慢性の腎臓の病気の意味：どこにでもある慢性腎臓病とは？

講師：医大・腎臓内科・血液浄化センター 重松 隆

○臓器不全対策として進歩している腎臓病：透析療法とその周辺

講師：医大・腎臓内科・血液浄化センター 根木 茂雄



当院には毎日千人以上の患者さんが訪れます。そんな通院患者さんの強い味方が病院フロアで活動する外来ボランティアの皆さんです。患者さんの「ありがとう」の一言を励みに日々精力的に活動しています。「〇〇科ってどこ？車イスを押してもらえないかな？」そんなときは気軽に声を掛けてください。



患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.4〉

2008年3月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
6月です。